

質問及び意見書として提出します。

「淀川水系河川整備計画原案について 上野遊水地及び川上ダムの事業計画」の説明に対する疑問
(その2)

2007年10月10日

自然愛・環境問題研究所 代表 浅野隆彦

- 1) 川上ダム計画について、に現(旧)計画 貯水池容量配分図と新計画の配分図が示されている。殆んど同規模であるが、旧の当初「建設工事費」と新の「建設工事費」を示されたい。
- 2) 新の「建設工事費」のうち、「水道用水利水者」(三重県)の負担額はいくらか?
- 3) 新の「建設工事費」のうち、「治水利益者」の夫々の負担額を示されたい。
- 4) 「既設ダムの長寿命化のための補給」については、何処に、どれほどの負担額がかかるのか?
- 5) 「維持管理費」は夫々の負担者にどれほど、かかるのか?
- 6) 「堆砂の除去費」は100年以内のダムであっても「維持管理費」として負担する事になっているのか?
- 7) 岩倉地点の水位流量曲線について、「今回使用HQ曲線」の適用「粗度係数」を明示されたい。
- 8) 越流堤の設計について、のシミュレーションで「様々な洪水を考慮して・・・」となっているが、遊水地地点における集水面積に対する流域平均降雨量でもって、3川の洪水を入力し、河道断面で割って水位を把握するという「平均化洪水シミュレーション」だけではなく、「地域特性降雨」を十分に考慮した柘植川、服部川、木津川の独自の洪水をもシミュレーションして検討すべきだが、そうしたものがあのか?すべての「シミュレーション検討内容」を示されたい。